

広報活動報告（日光けっこうフェスティバル2011） —平成23年10月8日（土）—

平成23年10月8日（土）、「日光けっこうフェスティバル2011」（会場：日光市運動公園）において、ブースを設けて日光砂防の事業PRを実施しました。

今年9月の台風12号では稲荷川の上流に土石流が発生したため、稲荷川の航空写真「稲荷川マップ」を用いて”大鹿落とし”など上流の崩壊地を強調した展示を行いました。

8日（土）当日は晴天に恵まれ、イベント開始の10時前から多くのお客さんに訪れていただき、午後3時頃まで職員3名が交代で説明を行いました。



稲荷川の最上流にある早川谷上流砂防堰堤の上には転石があり、土石流は堰堤より上に上ったと想定されます



稲荷川第10上流砂防堰堤の土砂堆積（平成23年9月2日）

台風12号の雨により、9月2日（金）朝、稲荷川上流で土石流が発生して土石流センサーが壊されました。

しかし、下流にある稲荷川第10上流砂防堰堤で大量の土砂を捕捉したため、日光市内に被害はありませんでした。



日光砂防事務所ブース



大鹿落とし

世界遺産日光東照宮の北を流れる稲荷川の上流には“大鹿落とし”などの崩壊地があり、たびたび土砂災害が発生していました。

大正7年度から直轄砂防事業が実施されています。また、大正から昭和の初期までに建設された8箇所の堰堤は登録有形文化財に登録され、歴史的な建造物として評価されています。